



東北方面

恵まれぬ仙臺市の道路

不具な文化の恵澤に浴してゐる社會には、彼れの利我れの不利といふ様な不均需を示してゐることは幾らもあるが、これから仙臺市内に於ける自動車の利害等はそれを最も明白に證據立てるものである。自動車の民衆化實用化には誰人も異議を持つ者もなからうが、自動車を縦横に馳驅せしむる肝腎の道路がまだ不完全なために一方に於て自動車の恵澤を受けると共に他方に於て非

常な交通上の障碍を被つてゐる、目下仙臺市には百七十八臺の自動車がある、之等の

自動車が舗装されていない幅員の狭い道路を遠慮會釋もなく疾驅するので、雨後又は降雪後の路面の泥濘の際などに一般徒歩通行者の被る迷惑は一通りでない、殊に運轉手に徳義心がなく東一番丁の如き最も交通の頻繁な狭い道路でも無遠慮にスピードをかけるので徒歩通行者は兩側の軒下に逃げ込む暇もなく無慘にも泥の洗禮を受けてゐる實況である。内務省令に基き都會地等に於ては其速力にも自ら一定の制限がある筈であるのに之を無視し少數の乗用者の利便の

爲に多數の徒歩通行者の交通を妨害し被服を毀損してゐる自動車の横暴を黙認するといふことは都會地に於ける交通取締の上から甚だ怪しからぬ。せめて雨後降雪後の泥路の際だけでも自動車の速力を特に制限するか泥除けの取付けを嚴重に監視するか或は運轉の道路を制限する等臨機を取締方法に出るのが至當ではないかと此頃市民の間に漸次非難の聲が高まつてきた。

金華山道路改修問題

宮城縣牡鹿郡各町村を開發して産業振興を圖らうとする金華山道路の改修問題は縣當局で調査した結果、工費金貳拾餘萬圓を以て昭和二年度及三年度に於て完成する豫定であるが、右の中關係町村の負擔金は合計金五萬壹千八百九拾七圓であつてこの割當額は鮎川村貳萬圓、萩ノ濱、大原、波ノ波各町村各九千圓、石の巻町貳千五百圓、稻井村、女川町各壹千圓、蛇田村五百圓を

支出することに決定した、そして各町村共大體其の負擔に應じたのであるが、萩ノ濱村のみは渡ノ波町から萩ノ濱村まで自動車運轉せしめるまでに改修しなければ支出することが出来ぬと主張してゐるので、各町村長會から縣當局に實地測量を依頼し技師に調査して貰ふことになつたのであるが萩ノ濱村で飽くまで強硬に主張して應じないとなると折角の縣の計畫も或は頓挫を見るのではあるまいかと傳へられて居り、過日の町村長會議にも萩ノ濱村長は缺席したのでこの問題について同村側が如何なる意嚮であるか不明であるが結局同町村長會に於ては渡ノ波祝田濱から萩ノ濱村を経て大原から鮎川村山鳥渡しまで自動車交通に適する様に改修しなければ寄附に應ずる譯には行かぬといふ決議をした。之に對し縣當局の改修方針は果して如何なる程度のものか不明であるが、萩ノ濱村から大原村に通ずる小嶺峠には墜道を開鑿するので自動車

の通すること、なるのは當然であるから各關係町村に於ても大體異議なく負擔決定を見るであらうといはれてゐる。縣に於て既定方針によつて改修されるならば半島方面の開発を來し産業道路として効果を收めることが出来るであらうから各町村でも負擔支出については大なる反對もあるまいと云はれてゐる。

東 海 方 面

岐阜市の道路事業

岐阜市都市計劃委員は一月八日午後三時から市役所樓上に會合して岐阜市都市計劃道路に付都市計劃委員會安藤技師から右事業實施に關して左の如く説明した。

第一期工事として着手する幹線道路其他延長約四里此工費約八百萬圓は國縣の補助及受益者負擔とし市の負擔となるは約參百萬圓の豫定であるが、之を五ヶ年繼續事業

として實施する様地方委員會へ提案の運びになつた。

愛知縣の道路共進會

愛知縣では年々縣下の各道路に對して莫大な維持費を投じてゐるが、此當局の努力に比して縣民一般の道路愛護の念は極めて薄く、偶々パラスを路面に散して道路の硬固を圖らうとすれば、其のパラスを宅地に用ひ或はパラスをまいた當時は車馬、歩行共に困難するので、これを兩側へ積重ね地元町村民も亦これに對して何等施す所がなく、爲に折角パラスを敷き或は其他の路面改修を爲すも効果なき有様なので、愛知縣當局に於ては明年度から毎年秋一回宛道路共進會を開催して、縣民の道路に對する愛護の觀念を養成する事となり目下其の規定等草案中であるが、その大體の内容は一市町村或は一大字の團體名義を以て同地域内にある一番好い道路を指定して出品し、

縣では全縣下から出品したこれ等出品道路を技術家に一々實地審査させ、最も優良と認められたものより順次等級を決して賞金を授與するものであるが、之が爲地元市町村ではその年に出品する道路に對しては在郷軍人、青年團其他在住民は出來得る限り出品道路に對して手入を施すこととなり、漸次道路の愛護觀念を増すものである、勿論出品道路については國、府縣、市、町村道何れでも隨意で、又審査の方法についても幅員三間の道路十町出品したものと、一間道路十町を出品したものとを要した點等に於ても相違を來すので出品地元の人、幅員延長出品以前の路面損失程度等をも參酌して審査するのである。規定は明年度早々に發表し第一回を九月頃に行ふ筈であるが、何にしても愛知縣としては始めての事業なる上一寸風變りな共進會であるに相當効果をおさめる事と思ふ。

堤防を利用して道路の新設

最近愛知縣下の人口が著しく増加を來してきたのに伴つて、道路の開設を市町村から縣當局に申請してくるものが多數を加へて來た。併し一面に於て此多數道路が開設される時は道路敷地として耕地をつぶす事非常に多くなり、そうすれば人口と耕地と件はず、食糧問題の喧しい折柄一層問題を深刻にする恐れがあるので、今後縣土木課では府縣道を始め市道町村道と雖も出來得る限り河川及其他の堤防を利用して道路とさせ、以て土地の經濟を計る事となつたが此河川堤防を道路に利用させる事は獨り土地經濟許りでなく、河川堤防を著しく固くして防水の實を擧げること、なる、即ち普通堤防は只だ土砂を以て堆積したわけであるから極めて軟弱であるが、この上に道路を設ける事とすれば常に路面の交通によつて固められ、且つ堤防上に路面を設ける以上は堤防の幅員も廣くなつて防水上非常の利益があるであらう。

近畿方面

京阪間自動車

専用道路開設されん

近時交通は益々繁激を加へ従つて自動車の必要を感じて來たので、この程京阪神地方有力者を發起人として資本總額金壹千萬圓の日本車道株式會社を設立して、京都、大阪間の自動車専用道路を開設することになつたので、一月十三日附を以つて京都府知事に宛左の願書を提出した。京防兩都市間の交通機關は、省線京阪電鐵及近く開設せんとする新京阪等があるが、兩都市間に於ける貨客の運輸状態の日に月に頻繁を加へつゝあるの時、到底これを以て足れりとせず、或は河川を利用し、或は牛馬車に依るものが少くない。然るに最近自動車の發達普及につれこれを利用せんとする者漸

次増加し、今や我國に於ても東京横濱間及大阪神戸間には既に新國道の鋪裝全くなるに鑑み此際我京阪間に自動車専用道路を開設せんとするもので、計劃は京阪兩市間に成るべく直線を以てする道路を開設し幅員四間、路面は混凝土を以て鋪裝し、又本線の起點は京都市下京區西七條、同終點は大阪市長柄橋北詰支線の起點は大阪市東淀川區北中島町同終點は西淀川區阪神國道とした。因に會社の創立事務所は京都祇園町萬壽小路に設置せられた。

阪神國道と築港連絡道路

阪神新國道が今春勿々開設され、これを利用する貨物の輸送量が多くなるは明白のことであるが、この國道の現在神戸市に於ける終點は市郡境界の地點であつて、築港に至るまでの間僅に四間位の道路が一筋あるのみである、この状態では海陸連絡の實が擧がるものとは謂はれない。

近き將來に於ては三宮驛の東方移轉によつて築港との連絡が實に都合のよい位置に來るから、阪神新國道を新三宮驛迄延長し、築港に至る主要道路と連絡されなければならぬ。

從來神戸港に於ける外國貿易は次の統計

神戸港から大阪方面向輸送外國貨物系路

	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
外國產貨物總搬入	三、六九四 噸	四、一九二 噸	四、三五八 噸	三、七四六 噸	
海路輸送	九八六	一、二三〇	一、二八三	一、四二七	一、二三〇
陸路輸送	一九三	二〇六	一七三	一四二	四八
計	一、一七九	一、四三六	一、四五六	一、五六九	一、二七八
總搬入に對する海路輸送歩合	〇、二六	〇、二九	〇、二九	〇、三三	〇、三二

大阪方面から神戸港向輸送の輸出貨物系路

	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
海路輸送	三四六 噸	三五三 噸	三〇九 噸	二八二 噸	三二六 噸
陸路輸送	三五	五〇	五七	五八	六八
計	三八一	四〇三	三六六	三四〇	三九四

が示す通り、海路輸送に據るものが大部分であるが、新國道開設によつて、西宮、尼崎大阪方面に對する出入貨物の一部は今後陸上輸送に俟つ趨勢となつてくること疑ひない、即ち貨物輸送系統に多大の變化を來す譯である。

右の通り従来は海路輸送即ち船舶輸送が大部分であるが、その大阪向海路輸送貨物は荷主の手許に引取らるゝ迄には更に積替へ迂回するの不便があるから、將來陸路交通の便が開かれるならばその利用も亦大なるものであらう。

要するに築港に至る大鋪装道路の一日も早く實現し、阪神新國道との連絡に於て完璧を期するならば、やがては陸上輸送に對する神戸港の機能を愈々發揮する所以で、延いては神戸市振興の一助となるのである。

姫路市内の鋪装道路

姫路市の目抜通である二階町筋は、縣土木課と交渉の上鋪装道路とすることとなり既に中二階町は基礎工事が出来上り、雨天などにも泥濘の虞れなく、面目を一新したので、東二階町でも土木出張所に交渉の上同様鋪装工事を實施することに決した。工事區間は八王町百四間、工事費六千圓で、

同町に於いて三分一負擔の契約である。

本式になつた阪神大國道

阪神大國道も九分通り出来上つて、既に客年十二月一日から兵庫縣に屬する五里二十數町の全線に亘り、一般車馬人畜の交通を差許してゐるが、昨今著しい交通量の激増を來し、この儘無取締のまゝ放任して置くと、勢ひ事故の發生を來す虞れがあるので、取敢へず茲當分の間西宮工營所に於て交通取締を勵行することとなり、今回沿道七ヶ所の出張所に向けて大體左の要領に基いて、吏員以下工夫に至るまで相協力して嚴重なる交通取締に任ずることとなつた。

一 歩道の完成してゐる箇所には、諸車は必ず車道を、又歩行者は必ず歩道を通行せしめること

一 車道が兩側とも完成してゐるところは左側の車道を通行せしめること、これがために車道の片側だけ完成してゐる部分

と兩側とも完成してゐる部分の兩端軌道數に適當なる渡り道を電鐵會社をして施工せしめ、左側通行を標示すること

一 車道の片側のみ完成してゐる箇所には、片側車道内にて左方を通行せしめること

一 國道上に於て遊戯をなさしめざること
一 道路敷内に出店の類を、出さしめざること

中國方面

元旦の道路奉仕

廣島縣沼隈郡東村では一月一日午前七時から青年團及在郷軍人分會員總出となつて村内を七區に分け一齊に道路修理を行つた因に同村は山間にあり極めて惡道なので年々巨額の費用を投じて道路改修を行つてゐた折柄なので何れも此舉に對して感謝してゐる。

箕笠を纏うて道路大修理

廣島縣安佐郡三入村在郷軍人會及青年團は去る大正十五年十二月十四日午前六時から心身鍛鍊と公益事業に盡す意味に於て、打揃ひ百二十名雨中箕笠を纏ひ府縣道の大修理に従事し、泥土の排除、土砂の運搬、排水、溝浚へ等をなし、十一時終了後熊谷分會長は赤穂義士打入りに關する各種の調査書を揭示して講話をなし大に武士道を鼓吹した。終つて道路愛護の大宣傳に村民を感動させたが、今日まで同村が實施した府縣道の修理は一萬二千米、里道四萬米、延人員一千二百十人に達した。尙當日参加しなかつた人員に對しては殘部の土砂を里道修繕の爲めに運搬せしめることを協定した、當日配布した道路愛護宣傳ビラは左の通りである。

夫れ道路の浮生なる相をつらく歎ずるに凡そ儻なきものは其の始中終りまぼろし

の如なる一期なり、されば其の内にも國道、縣道、村道、里道ありて其の所管は各々異れりとも雖も何れも大同小異にして修理の行届かざる所なしと云へり、而して道路は萬歳の維持を受けたりと云ふ事を聞かず、一生過ぎ易し、何れの道路が百年の行態を保つべきや、彼や先是や先今日共知らず明日共知らず破損するもの末の露よりも繁しと云へり、されば朝早くより自動車、馬車を始め、自轉車、小車の往來繁く、夕べには之等又も復り來りぬると思へども既に無常の風吹き來りぬれば石垣崩れ凹凸車跟甚だしく、人馬共苦勞する事又甚だし、されば人々相集まりて嘆き悲めども更に其の甲斐あるべからず、さてしもあるべきにあらざればとて、修路工夫が急ぎ手入をするとも雖も一塵無常の降雨ありぬれば又元の如し、あはれと云ふもおろかなり、されば道路愛護は一

生我々御互ひの義務なりと思ひ、一部の責任者に任すことなく補修手入をなし、通行

の時も修理手入のときも御念佛申すと共に深く道路愛護の精神を涵養すべきものなりあなかし。

船木村の道路修理

廣島縣豊田郡船木村では昨年縣當局主催道路共進會に参加し良好なる成績を得たが更に第二回共進會に参加し村當局では一般村民に道路愛護の念を深くさせる爲め各種の方法に依つて之れが宣傳に努めてゐたが一月十六日午前七時から村内一齊に各戸一名以上各部落毎に當局指定の位置に集合し福島村長總指揮官となり各區長役場吏員等の指揮に依つて府縣道町村道の雜草の除去砂利の運搬、排水路の浚深、石垣の修理等終日熱心に作業し、爲め路面一新して交通の便此上もなく午後三時福島村長は各區長を通じて當日の勞を謝して散會した。

廣島市の街路網

街路網は都市計劃中最も重要なものであるが、廣島市の都市計劃では東西に三線の貫通道路を設け、これと交叉して河川には、はさまれた各地域毎に南北に通ずる幹線道路を一本乃至二本宛新設し、且つこれらと縱横に交叉する補助道路（幅員一間半乃至六間）を設け名實共に大廣島市として恥しからぬ街路網を張る豫定である。此街路網中には近時市が漸次東方に發展しつゝあるに鑑みて種々の關係から廣島市の表支關である廣島驛から皆實町を経て宇品に達する約五十町間に十二間道路を新設する案も含まれてゐる模様であるから、若し此案が實現された暁には陸軍工廠の移轉など、相待つて東部廣島は實に目覺しき發展をなし市の中心となるものと觀測せられてゐる。

小國村民の道路大修繕

廣島縣世羅郡小國村第三回道路修繕は過日村民一齊の總動員を行ひ、受持區域を指

定路面の手入泥土の除去兩側溝の雜草除去等熱心に道路愛護のため奉仕したが、當日の出入者約八百名戸主會在郷軍人會青年團同訓練所小學校全兒童に至る迄五班に分け眞に涙ぐましいほど活動し甲山大森線外五線の大修繕をなした。

九州方面

銀水村道路新設計畫

福岡縣三池郡銀水村では銀水驛開通と共に道路網の完備に努力し新設改築等種々計畫中であるが、其中でも白川三池町間驛前田隈間兩新設道路は愈々昭和二年度豫算に計上する事となつた。而して白川三池町間は白川新道（道面川北側から）三池町大間橋に通ずる幅二間長さ約七百間の殆んど直線路で、工費八千圓と豫定され驛田隈間は幅員二間半距離四百間で工費四千數百圓の見當である之等工費に對しては豫て縣費補

助四千二百圓を申請中の處昨年の縣會に於て通過した尙大牟田瀨高間府縣道は銀水驛前を通過して村内に最長距離を有するので地元は於て促進運動が擡頭し地元有志は夫々協議會を開き村役場並に議員訪問を續けてゐる。

下關と道路改修

下關市の道路は降雨にあへば全く泥海と化し、市理事者は市民怨嗟の的となつて居る、之に對し市理事者は道路橋梁費として本年度に於て六萬壹千貳百九圓明年度に六萬壹千七百五圓を計上して居るが之ではたゞ單に現状を維持する程度の修繕費に充當し得るに止まり更に進んで之を以て鋪裝工事を施すことなどは到底出来ないから此際根本的に道路改修を斷行する様との意見が一部に行はれてゐる。